

維持管理を目的とした箱型トンネルの施工法に関する講習会 ～若手・中堅トンネル技術者向け～

トンネル工学委員会技術小委員会では、「シールドトンネルに関する国内外の基準検討部会」（部会長 小西 真治（株）アサノ大成エンジニアリング）を設置し、現在では事例が少ないものを中心に、特殊な工法で建設された箱型トンネルの施工法について、ヒアリング等を通じて情報収集を行いました。

トンネルの維持管理において、変状原因やメカニズムの推定には施工法の特徴の理解が重要となりますが、若手・中堅のトンネル技術者にとって、前述のような古い時代の特殊な工法への理解を深めることが困難な現状があります。この部会の活動を通じて、①ケーソン工法で施工された箱型トンネル、②地下連続壁を本体利用する開削トンネル、③河川部等で特別な開削工法により施工された開削トンネルの施工法や施工手順の実例や詳細等が整理されました。これらの工法で施工されたトンネルは河川近傍等の漏水が発生しやすい環境に建設されていることも多くあります。そのため、維持管理においては漏水やそれに起因する変状が生じることが想定され、施工法の特徴の理解は、漏水の発生メカニズムや経路の推定の助けとなり、効率的な維持管理計画の立案に繋がることを期待しています。

この度、本部会の活動成果をまとめた報告書の公開に併せて、講習会を開催することといたしました。皆様のご参加をお待ちしています。

1. 主 催： 土木学会 トンネル工学委員会 技術小委員会
維持管理を目的とした箱型トンネルの施工法の調査部会
2. 日 時： 2025 年 12 月 22 日（月） 13:30～16:00（受付時間；13:05～13:30）
3. 会 場： 土木学会講堂
4. 定 員： 50 名
5. 参加費： 会員 1,500 円， 学生会員 無料
非会員 3,000 円
（税込価格，参加費に資料代含む。）

6. プログラム（予定）

司会：牛田貴士 幹事長（鉄道総合技術研究所）

13:30~13:35	開会挨拶	小西真治 部会長 (アサノ大成基礎エンジニアリング)
13:35~13:50	はじめに	小西真治 部会長 (アサノ大成基礎エンジニアリング)
13:50~14:20	ケーソン工法を用いた 箱型トンネル	伊藤昌弘 WG 長（東京都 交通局） 鍋島寛之 委員（大阪シティバス） 並木智和 委員（オリエンタル白石）
14:20~14:40	質疑応答・休憩	
14:40~15:10	連壁を本体利用する 箱型トンネル	今中康貴 WG 長（大林組） 麻生勇人 委員（東京地下鉄） 越後卓也 委員（パシフィックコンサルタンツ）
15:10~15:30	その他の特殊な工法を用いた 箱型トンネル	高木一行 WG 長（横浜市 交通局） 守田貴裕 委員（安藤・間） 山口哲司 委員（熊谷組）
15:30~15:55	おわりに・質疑応答	小西真治部会長 (アサノ大成基礎エンジニアリング)
15:55~16:00	閉会挨拶	岩波基副部会長（岩波地下構造技術士事務所）

7. 申込方法：その他留意事項をご確認の上、下記の土木学会 HP からお申込みください。

<https://www.jsce.or.jp/events/form/292505>

※決済後の変更・キャンセルはできませんのでご注意ください。

8. 申込締切：

クレジットカード決済：2025 年 12 月 17 日（水）17：00

コンビニ決済：2025 年 12 月 10 日（水）17：00

9. その他留意事項（必ずお読みください）：

- ・テキストは、後日ご案内する URL からご自身でダウンロードしてください。ペーパーレス化推進のため、会場での紙面配布は行いません。
- ・当日は受付にてお名前をお申し出ください。参加券メール等の印刷は不要です。

10. 問合先：(公社) 土木学会 研究事業課 トンネル工学委員会担当事務局宛
Email：sugawara”at”jsce.or.jp ※”at”を@に変更してください